

国内情報

家畜人工授精優良技術発表全国大会で西川賞決定！

技術・情報部 倉上 愛梨

2月15日、大手町の日経ホールにて、一般社団法人日本家畜人工授精師協会主催の「第52回家畜人工授精優良技術発表全国大会」が開催されました。この日は、「牛の繁殖成績を向上させよう！」を大会テーマとして、全国から選ばれた11名（表参照）が日常の業務を通じて得た貴重な知見や調査研究結果を発表され、全国から集まった約250名が熱心に耳を傾けました。また、シンポジウムとして「牛の超音波検査技術の活用と問題点Ⅱ」をテーマに、北海道大学大学院の谷田先生、ふくおか県酪農農業協同組合の高野先生、赤城酪農協同組合連合会の吉田先生、(株) Pirica Geneticsの太田先生の4名による講演も行われました。

受胎率向上への貢献度が最も高い例として選出された2題に贈られる西川賞には、**千葉県**の**山口英一郎氏**の飼料価格高騰下におけるTMRセンター利用農場の繁殖成績、産乳成績の維持・向上と、TMR価格の安定化を目的とした取り組みについての発表、そして**北海道**の**廣川雄哉氏**の十勝管内の繁殖成績改善に向けたPAGs検査の活用ポイントの検討についての発表が選出されました。

農研機構畜産研究部門元家畜育種繁殖研究領域長の平子誠氏は総評の中で、「西川賞はどちらも直接的に人工授精に関係するものではありませんでしたが、優良な技術の発表でした。また、受賞した2題のみが特に優れたのではなく、その他の発表についても現場での活用に繋がる優秀なものが多く見られました。今回の発表に留まらず、これらをベースにさらに発展していかれることを期待しています。」と述べられました。

私にとっては、今回が初めてお手伝いさせていただいた記念すべき第1回目の大会でした。現在の業務で



後列) 野村氏、野崎氏、下瀬氏、菅氏、竹田氏、笠原氏、貞刈氏、笠井氏、石川氏
前列) 山口氏、強谷会長、廣川氏

発表演題および発表者

発表演題	発表者
隠岐諸島で開催したはじめての超音波検査技術研修会とその後の意識調査について	島根県 野村 亮
飼料高騰下における TMR センター利用農場の繁殖成績改善の取り組み	千葉県 山口 英一郎
繁殖改善に向けた PAGs 検査の活用ポイントの検討	北海道 廣川 雄哉
繁殖成績改善による子牛生産率向上への取り組み	鹿児島県 野崎 旭
チームでサポート「うっかりをカバーします！」和牛繁殖巡回指導の取り組み、10年後の今	島根県 下瀬 将司
受精卵移植を活用した黒毛和種繁殖経営規模拡大と産地づくりの取り組み	山形県 菅 剛
尻・陰部の角度と尿腔・受胎率との関係性	北海道 竹田 颯斗
乳牛における人工授精時のシース管カバーの有効性	北海道 笠原 真優
卵胞嚢腫が疑われる大卵胞と成熟卵胞が共存する場合の受胎性について	福岡県 貞刈 陽
黒毛和種繁殖牛に対する膈内留置型ホルモン製剤を使用した定時人工授精法の受胎成績調査	兵庫県 笠井 一人
低単位 eCG 剤を追加したプログラム移植の有用性	富山県 石川 憲明

は、人工授精の技術を用いることや現場で農家さんや牛に触れることはありませんが、わかりやすい内容の演題も多く、発表・シンポジウムともに非常に興味深く拝聴しました。全国の繁殖現場で活躍されている皆様の技術発表を聞くことができる貴重な大会の、来年の開催を心待ちにしながら、以上をご報告とさせていただきます。